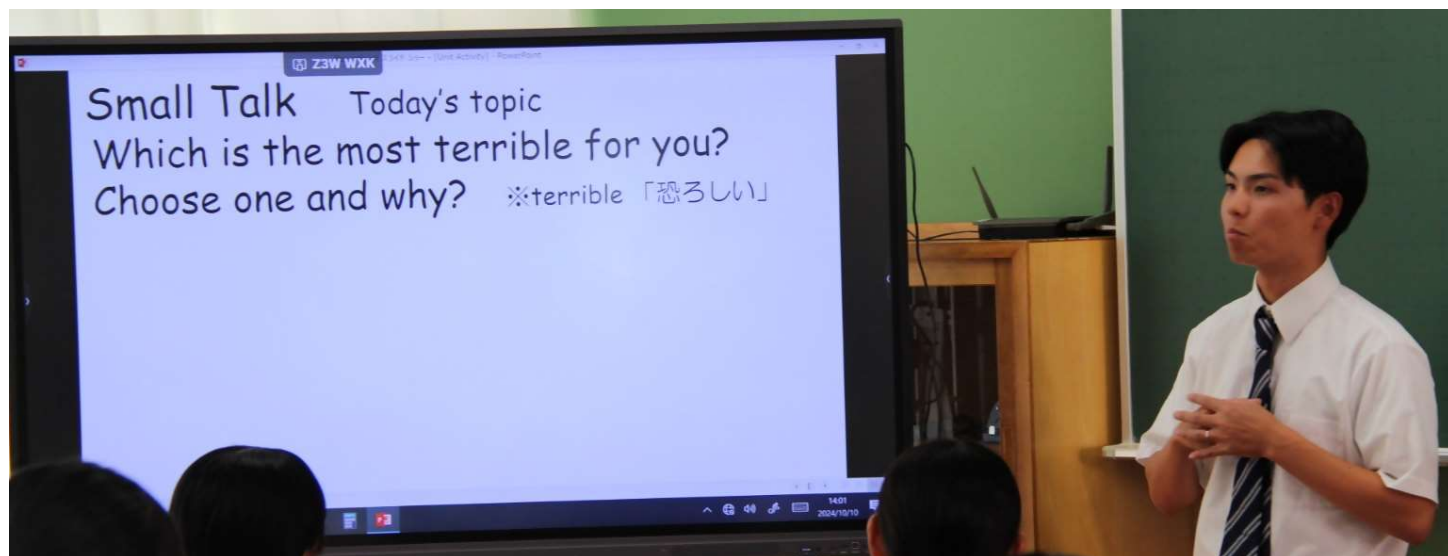


## エリアリーダーによる1人1台端末を活用した授業公開



唐津市立高峰中学校 エリアリーダー 石田 智輝 教諭

単元名：「Unit4 Be Prepared and Work Together」 中学3年 英語科

高峰地区で災害が起きたら外国の人に何を伝えるべきか、しっかりとした**目的意識**を持ち、**伝わりやすい文章表現**や**効果的なポスター**の作成について考えを深めた授業でした！

### # ICT活用①

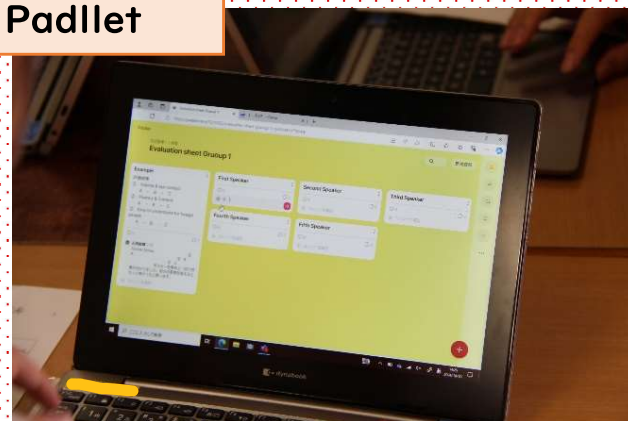
・ Canva



豊富なイラストの中から使いたいものを選び、レイアウトや文字の大きさ等工夫してポスターを作成します。紙とは違い交流後の修正も簡単にできます。

### # ICT活用②

・ Padllet



交流後の気づきや感想を相手ごとに記入し、瞬時に共有できます。友達から自分への意見が一覧できるのも魅力です。

← 「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>





導入

- 1 英語を使ってあいさつをする。
- 2 Small Talk
- 3 本時のめあてを知る。

めあて: 高峰地区の災害対策ポスターを外国の人に分かりやすく紹介しよう。



目的意識を全体で共有

展開

- 4 災害対策ポスターの最終チェックを行う。

ポスターを完成している人は発表原稿についても見直しを行います。



- 5 ペアの人と紹介の練習をする。

お互いに感想や改善点を伝え合う

#ルーブリック

	Volume & eye contact (音量とアイコンタクト)	Fluency & Content (なめらかさと内容)	Easy to understand for foreign people (外国人にとって分かりやすい)
A	十分な音量でアイコンタクトができた。	なめらかに述べた内容と自分の意見を伝えることができた。	ポスターの絵や文字が見やすく、発表も分かりやすく、災害時に何をすればよいのかが一目で分かる。
B	聞こえる音量で、アイコンタクトが少なかった。	2, 3回止まるが、適切な内容で伝えることができた。	ポスターの情報と発表の情報を合わせると災害時に何をすればよいのかが分かる。
C	音量が小さくアイコンタクトが少ない。	止まる回数が多く、内容が少ない。	ポスターや発表から災害時に何をすればよいのかわからない。

#友達と



ペア練習

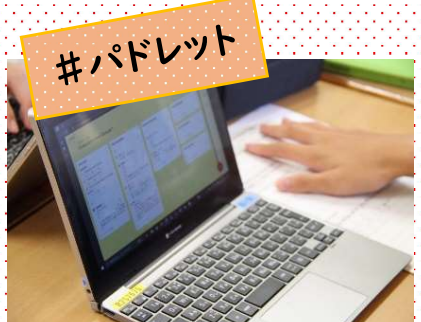
やり取りの前に、全体で到達目標の共有

一緒に修正



- 6 グループの人を外国の人に見立てて、ポスターを紹介する。

相手のよいところ、改善すべきところに目を向け、パドレットで共有



友達の発表を聞いたら、ルーブリックに沿って友達に意見を伝えます。話し言葉だとすぐに消える感想も、この方法だったらすぐに共有できるし、記録も残り、便利です。

まとめ

- 7 まとめ